

1 議長挨拶

2 経過報告

2月17日 第79回連携会議

3月 2日 予算要望委員会（予算要望グループ長）

3 協議題1 2016年度版「石狩市の学校間連携」について ～ 別冊
製本について

①本日の論議による修正部分を含め、後日確定ファイルをメールで送信します。

②製本は、各学校で必要部数を作成します。

③綴じ方は左綴じホチキス止めとします。

配付先と配付方法等

①教育委員会----- 製本を事務局から配付（面談にて）

②各校長 ----- 各学校で印刷製本し配付

③学校支援推進委員 ----- 各学校で印刷製本し配付

（学校支援推進委員については校長の許可を得てください）

かがみ例文は、本議案の最後にあります。

協議題2 2016年度事務局反省について

～別紙1

協議題3 2016年度各グループ反省について

～別紙2

4 実践交流

保護者向け事務だより（厚田小学校）

5 連絡事項

本日の連携会議にて1年間の活動が終了となります。1年間通して事務局の力不足から皆様にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。次年度以降の活動にもご協力願えればと思います。

＜別紙1＞ 2016年度学校間連携会議事務局反省について

前回の連携会議で集約した事務局反省集約結果は下記にまとめてあります。反省集約結果を受けまして次の事務局反省を提案いたします。

2016年度事務局反省

1. 会議の開催状況

□これまでのスタイルを踏襲し、市事協研修会に合わせて9回の開催。出席者が少ない日もあったが、概ね順調に開催できた。現状ではこれより多くすることは困難で、年間のスケジュールを考えると少なくすることの影響も大きいと考えられるため、次年度も10回程度で計画したい。

2. 白書（学校財政と学校事務の状況調査）と提言

□調査活動について

(1)調査活動について、今年度は「スキーバス代調査」を行いました。予算要望書の要望事項として活用できないかと考え行いました。冬季研での検討受け次年度の予算要望書へ繋がっていければと考えます。また、今年度から始まりました「就学援助における学用品費の引き去り」についても調査を行いました。初めて行った学用品費の引き去りについて検証し問題点を洗い出し、提言19「就学援助費の引き去りについて」を提言しました。

北海道大学教育学部の学生と交流する機会があり改めて公費と私費について考えさせられる一年となりました。これを契機としまして「公費・私費負担調査」を行いました。石狩市内各校バラバラの対応になっている現状が浮き彫りとなりました。次年度以降、市教委と一緒に公費・私費について共通理解に立てたうえで「公費・私費負担区分について」を次年度提言出来るように今後取り組んでいきたい。

(2)「保護者負担調査」については例年通り実施し、交流を行いました。石事協においても保護者負担軽減をメインの研修テーマに据えていることから今後も継続的に調査および交流が必要と考えます。事務職員として常に保護者負担軽減に向き合っていけるように交流の場を設けていきたいと思えます。特に、全道協議会が提唱している「PFシート」を本市でも活用できないか検討してみたいと思えます。

(3)市教育委員会との連携で実現した「学校配分予算の調整」については今年度で3年目となりました。各校とも3年目となり各校工夫して学校配分予算の調整を行う事が出来るようになってきました。年度ごとに特色を持って配分予算を動かすことが出来るように浸透してきているのではないかと考えます。今後も継続して行えるようにますます市教委と連携して進めていかなければなりません。

(4)今年度は以前から取り組んでいた就学援助の手引きを完成させる事が出来ました。HPにも掲載し今後は変更点などを更新しながら進めていければよいと考えています。(1)でも触れましたが学用品費の引き去りも始まりました。現状の就学援助の手引きでは学用品費の引き去りについて触れていません。今後の課題として市教育委員会と連携を深めながらさらに使いやすい手引きにしていかなければならないと考えます。

(5)次年度は調査内容について各校の意見を徴するなどの方法で早い段階で確定し、計画的に実施していければと考えます。

□提言について

上記の通り、「就学援助費の引き去りについて」を提言19としました。今年度の提言は1項目となりましたが、内容の濃い提言となったと思えます。次年度以降も提言内容を精査しながら進めていきたい。

3. 予算要望

□要望内容のグラフ化について

数年前からの懸案事項であった要望内容のグラフ化について今年度、「児童・生徒ひとり当たりの学校配分予算額の推移」を視覚に訴える資料として作成いたしました。視覚に訴える資料を掲載してすぐには成果は現れないかもしれませんが、今後も分かりやすい予算要望書を目指して取り組んでいければと考えます。

□要望内容について

予算要望グループの反省では、要望内容について概ね良かったとされていますが、さらに組織だった要望内容とするよう引き続き検討を進めていきたいと思えます。今年度から要望事項の集約時期を早め夏季研において検討するスタイルに変更いたしました。今までは要望内容を検討する時間が足りない現状でしたので例年以上に濃い中身になったのではないかとと思えます。また、冬季研において次年度への要望事項の検討を行いました。1年間を通した要望活動のサイクル化を目指した取り組みが出来たのではないかと考えます。

4. 実践交流

□実践交流について

今年度も昨年度に続き研究Gの提案により連携会議の時間に毎回、各校が順番に「領域実践交流シート」の発表を行いました。ここ数年はなかなか実践交流の時間を確保できなかった事もあり2年続けての「領域実践交流シート」の交流となりましたが有意義な交流が進められたと考えます。

また、まだまだ実践校が少ないのですが、保護者向け事務だよりの実践交流も行う事が出来ました。制度的な研修と平行して実践的な研修も合わせて一年間を通して取り組むことが出来たのではないかと考えています。

□次年度へ向けて

予算公開実験などまだまだ取り組まなければならない課題を抱えています。また、補助金と市経理・諸費の総合的かつ効果的な活用のために各校の現状把握と改善を行っていかねばならないと考えています。まだまだ補助金業務を管理職誘導で行っている学校が散見されます。保護者負担軽減に向けて全事務職員がしっかりと取り組んでいけるようにサポートしていかねばならないと考えています。

事務職員が中心的に担う業務である学校予算編成資料および決算の交流も行っていきたいと考えます。また、今年は2校のみだった保護者向け事務だよりの実践交流も期待します。

5. その他

□今年度においても協議会の事務局とうまく連携しながら業務を進める事が出来ています。例年同様に市教委との連携を市事協事務局に担っていただき連携会議事務局は研修業務に専念することが出来ています。今後もこのスタンスを変えることなく進めさせていただきたいと考えています。

□これまでの積み上げを活かして、各グループが各グループ長を中心にしながら自主的に活動と提起を行ってもらうこと、事務局がその調整を上手く図ることを念頭に事務局運営を行っていきます。

2016年の学校間連携活動反省意見集約結果

回答数13名

1. 事務局による調査の負担具合はどうでしたか。

- かなり負担であった。 0名 やや負担、あるいは内容によっては負担だった。 3名
それほど負担ではなかった。 10名

2. 具体的に、どのような調査が負担でしたか。(できれば理由も)

・公費・私費の調査について記入がわからなく、今後どのように活用するのか。
・今年度初めて参加してみて、全体的に、(自分が思っていた以上に)奥底まで調べることが多かったことから、面を食らった感じです。調査が細くなる分、負担感を感じてしまいました。
・公費・私費負担の区分基準外支出調査 道立学校の基準表を参考にしなければならなかったこと(しかたがないとは思いますが・・・)
・それほど負担ではなかった。
・いえいえ、本当にご苦勞様です。

3. 2016年のとりくみで、成果を感じられた事項は何でしたか。(できれば理由も)

・保護者負担軽減に関する部分については、予算要望書作成資料にも関わっていく部分であるが、さまざまな調査により軽減についての意識が高まってきているし、実際予算要望を通して少しずつではあるが、軽減がはかられ成果がでてきていると思います。
・就学援助事務のてびきの作成は、現状に沿ったものができ、大変参考になる。
・予算要望の変化(配分調整)
・予算の配分調整や就学援助のことなど、市教委が連携会議(協議会)を通して行えていることが一番の成果だと思う。
・就学援助の手引きができたことで、分からないことがあった時に参照する資料ができてありがたいです。具体的ではないかもしれませんが、保護者負担軽減の考え方や、事務業務を通して子どもの教育に関わるという視点を与えてくれる連携会議は、仕事をする上での目標を与えてくれる貴重な場だと感じています。
・夏季研や冬季研はやはり良かったと思います。内容の他には他の市町村の方と交流できること。
・保護者負担調査(各校の様子が分かり、良い部分をそれぞれの学校で反映することができるから)
・保護者負担の状況を各校の現状を確認でき、調査共通理解できた点。
・学校配分予算見直し調査:学校の実態に合わせて配分予算を組めるので助かりました。
・保護者負担調査:他校の様子が分かる。公費負担できるものがないか検討する機会になる。
・予算要望および就学援助関係

4. 2016年のとりくみで、あまり成果を感じられなかった事項は何ですか。(できれば理由も)

- ・提言は、相手に伝わってこそ意味があるのではないのでしょうか。提言も、簡潔な言葉と図表など用いながら視覚に訴える手法をとっても良いと思います。
- ・保護者負担のとりくみは、正直停滞感を感じています。
公費化⇒節約という間違った意識になっていると思ったため。
この意識だと負担感が増すことになってしまうので、そうならない心構えが必要ですね。
- ・特になし。

5. 来年度、更に力を入れるべき事項や新しくとりくむべき事項はありますか。(できれば理由も)

- ・保護者負担軽減に関する調査や取り組みについては、予算要望活動や管内研究の大きな柱にもなっているため、継続しさらに力を入れていくべきだと思います。
- ・予算配分の役務費 カーテンクリーニング・校舎、体育館等のワックスがけ要望への実施計画
- ・未納者・未納金への対応(文書で各校が共通認識をもてる)作成は無理でしょうか。?
- ・「なぜ公費化にとりくむのか?(受益者負担の何が問題なの?)」を市内教職員に伝えることをやってみても良いのではないのでしょうか。
- ・出来れば将来的には、就学援助世帯の学校長口座への振込を学用品以外(PTA会費等)も対象とできないか、又要保護も対象とできないかどうか。せっかく市教委が動いてくれて出来るようになったことなので、もっと他の学校も行っては?と思います。そのためには学用品以外(PTA会費等)や要保護も対象とすることでほかの学校もやってみる気になると思います。又、今年度導入した学校の話も(以前もしましたが1年終わって改めてどう変わったか等)聞くのも他の学校が関心を持ってよいと思います。
- ・就学援助費 学用品費について 支給回数を2回にして、2回目の支給の際に、未納家庭分を学校長口座に振り込んでもらう取り組み
- ・予算・決算書の交流を行ったらいいと思います。
- ・石狩市での経験が少ないので、実務的な事務処理で工夫している点があれば知りたい。
- ・悩んでいます。事務職員ネットワーク構築もしたいし・・・。

6. 来年度、廃止または縮小すべきとりくみはありますか。(できれば理由も)

- ・スキー学習のとりくみは、全体的なとりくみになりにくいので、小学校の社会見学と抱き合わせてバスのとりくみをしてよいのではないかと思います。
- ・特に思い浮かびませんが、負担を感じる方が多かったらどっか削っても全然良いと思います。

7. その他、一年間の活動で気づいた点などありましたら、自由に記入してください。

- 連携事務局のみなさん、一年大変お疲れ様でした。
- ・「負担がある」と言ってしまうとスミマセン。もう少し事務局の意図を組んでとりくみます。
 - ・一番気になることは参加メンバーの固定化です。自分の学校をよりよくするために、「自分が頑張る」と「市内の事務職員と協力して頑張る」があるので、忙しいと思うけど少しの時間でも顔を出すことができるとうれしいですね。
 - ・事務職員が集まって情報を共有することができる場合は貴重です。今年もいろいろなことを学ばせていただきました。一年間お疲れ様でした。ありがとうございました。
 - ・坂地さん!1年間本当にお疲れさまでした。
 - ・各部と調整を図りながらの事務局業務お疲れ様です。
 - ・色々な調査を行った後、そこから見えてきた課題を少しでも解決するために何かに取り組むようなことができるとうれしいと思いますが、難しいですね。
 - ・膨大な業務、お疲れさまでした!
 - ・お疲れ様です
 - ・もっと日常実践交流でいろんな話が出ると話が広がると思う。

<別紙2> 2016年度各グループ反省について

1. 2016年度 研究部反省(アンケート集約結果及び見解 : 回答数 12件)

【活動計画】(1)「領域としての学校事務」をより、認知・定着させるとりくみに関わって

Q1, 今年度も課題解決のために、各会員の日常実践を「領域実践交流シート」や「実務実践交流シート」

により交流を行いました。このことは課題解決の方策として適切で有効であったと思いますか？

- (6) 適切で有効であった
- (5) まあまあ適切で有効であった
- () 適切・有効ではなかった 記述欄へ
- (1) その他 記述欄へ

(記述欄・意見)・あまり活動に参加できずに申し訳ありません。

(見解) 課題解決の方策として、適切で有効であったという意見が多かったことから、次年度についても引き続き、交流を深めていきたいとします。ご協力、よろしくお願いいたします。

Q2, 夏季・冬季研修会が、会員の実践推進の場としての研修会となりましたか？

- (7) 実践推進の場となった研修会であった
- (2) まあまあ実践推進の場となった研修会であった
- () 実践推進の場となった研修会ではなかった 記述欄へ
- (3) その他 記述欄へ

実践の場となった研修会ではなかった、その他に該当する場合は、以下にその理由を記載してください。

(記述欄・意見) 参加できなかった (3件)

(見解) 参加された方々は、それぞれ実践推進の場としての研修会との感想であったことから、今後もさらに内容を充実させ、研修会を企画していきたいと考えます。

参加できなかった方もいたようですが、比較的、都合が付けやすい長期休業中に、時間や内容の制約を受けずに研修を深めようということで行っていますので、部会同様、基本的には参加をお願いしたいと考えます。一人一人が石狩市の研修に積極的に関わりを持ち、それが管内・全道の研修の推進へと繋がっているという意識を持つことが大切だと思います。

Q3, 市内協議会や連携会議の事務局・各グループとの連携は十分に図られていましたか？

- (6) 十分に連携は図られていた
- (6) まあまあ連携は図られていた
- () 連携に不十分さがあった 記述欄へ
- () その他 記述欄へ

不十分さがあった、その他に該当する場合は、以下にその理由を記載してください。

(見解) 研究部としては、石事協との連絡、対応などで協議会、市内研究の深化、発展として連携会議、それぞれ連携を密に行ってきました。

協議会、連携会議のあり方については、各事務局で見解をお願いしたい。

【活動計画】(2) 各種レポート作成などについて

Q5, 二次研究協議会等各種発表レポートについては研究部が主体的に作成しましたが、内容、作成、会員へ

の周知などは適切であったか？

- (7) 内容・作成については適切で、会員への周知は十分に出来ていた
- (3) まあまあ内容・作成・周知は出来ていた
- (1) 内容、作成、周知について全部・一部に不十分さがあった 記述欄へ
- (1) その他 記述欄へ

レポートの内容、作成、周知について全部・一部に不十分、その他に該当する場合は、以下にその理由

を記載してください。

(記述欄・意見)

- ・資料を見せていただいて参考になりました。
- ・内容・周知は問題なしですが、一部員として一部の人の作成を任せすぎたと反省しています。

(見解) 石狩市では従前より連携会議での取り組みを市内研究と位置づけて行ってきたところですが、今後とも、石事協の研究課題及び市内独自テーマを基に研究を積極的に進めていくとともに、会員の皆様には経過・内容について随時お諮りし、市内全体のものとなるよう考えていきます。

【その他】 Q5、次年度以降、どのような研究の方向性を望みますか？（取り組みたい課題、研究など・・・）

(記述欄・意見)

○情報の収集（共有）と発信について

石狩市に来て1年経ちますが、事務それぞれ苦しんでいることがあっても、お話ししてないことがあると感じます。それと同時に、部会等で情報を発信する機会があっても、グループウェア等がないので、簡単に共有できていない現状があります。また、市教委から保護者へお知らせすることがありますが、事務職員が噛み砕いてよりわかりやすくお話ししてあげたりもできるのではと思っています。

以上のことから、
①事務職員
②教職員
③保護者
との情報の共有と発信を考えてみるのも良いと思います。

○財政基盤強化のための方策

各学校ごと → 消耗品の購入および業者の選定の仕方に

○研究じゃないけど、各学校の情報をやり取りする情報網の確立はできないだろうか？

○「公費・私費」を学習し、予算、調整等連携し、子どもたちの学習補償につながる研究・研修にはいかがか？

(見解) 貴重なご意見ありがとうございます。

情報の発信と共有をキーワードに、さまざまな方策で、それぞれが持っている情報のみならず、能力や技術・技能などを「情報発信力・共有力」を高めることで、我々の取り巻く環境改善につなげていけるような研究に取り組みたいと考えていきたいと思ひます。

2、平成28年度調査研修部反省（アンケート集約結果及び見解）

1 学校事務改善について

「就学援助の手引き」を改訂しました。意見等ありましたらご記入ください。また、事務改善の一環として取り組む課題等がありましたらご記入ください。

- ◇今後もこれを基本に実施し、改訂等を継続して行ってほしい。
- ◇特になし
- ◇手引きができたことはよかったです。(正直、助かりました。)
- ◇他市町村では「就学援助事務の説明会はないのか!?!」とお怒りになっているという話を聞いたことがあります。(私自身は、そう思わないのですが…) その年の異動してきた方への説明があると助かる(丁寧)こともあるのかなと思いました。
- ◇分かりやすいものを作成していただき、ありがとうございます。
- ◇他管内や他市町村から異動してきた場合、手引きはとても重要なものになるので、今後も変更などある場合はこまめに改訂していく必要があるかと思います。サービス関係について旅費や給与などに絡むことが多いですが、事務センターや教育局にそれに絡んで問い合わせても、「サービスは市町村に」と返答されることが多いので(当然かもしれませんが)、サービス関係についても手引き的なものがあればありがたいかなと思います。
- ◇現状に沿ったものであり、良いとりくみでした。
- ◇担当者には大変ご苦勞をおかけしました。ありがとうございました。
- ◇お疲れ様です。
執行決議書・・・残額等計算できるデータだけ持っていないですか
- ◇最新型になってよかったですと思います。
- ◇特になし
- ◇とくにありません。
- ◇お疲れ様でした。
- ◇他市町村との相違点を手引きで確認ができたので助かりました。

- 「就学援助の手引き」の取り組みについて、良い取り組みだったと評価していただいたと思います。調査研修部内での引き継ぎをしっかりと行い、改訂を継続していきます。
- 事務改善の一環として取り組む課題等については、「サービス関係の手引き的なものがあればありがたい」「職員向けの休暇の種類についてや休暇処理簿の記入例、育休職員の手続きチェックリストなど市内で共通化して良いものを作成してはどうでしょうか」との意見をいただきました。事務局とも相談し、検討していきたいと思います。"

2 他支部交流について

今年度、他支部交流として9月16日(金)に札幌市立資生館小学校の視察を行いました。

日時、行き先、内容等についてのご意見をお書きください。"

- 時期について (時期は 月頃)
- 内容について (内容 について)

- ◇良かったが、交流は毎年実施しなければ行けないのか。
- ◇子どもたちに還元できる研修交流を考えては。
- ◇市内の研修等とマッチしないで、他支部交流を考えるのは大変だと思う。
- ◇特になし
- ◇時期は、こだわりはありません。
- ◇内容は、加配校での仕事の様子や他の協議会・連携会議（石狩管外）の様子を見たいです。
- ◇希望地は、こだわりません。
- ◇時期はちょうどよかった。希望地は近場で行きやすかった。内容について、予算が潤沢なところではなく、予算が厳しい中で備品購入や整備、整理整頓をうまくされているところを視察したい。
- ◇視察場所の選定や連絡調整など大変お疲れ様です。担当される方の負担にならない範囲で取り組んでいけるとよいかなと思います。
 時期：9月中旬か10月下旬頃
 内容：学校間連携や事務改善に関わるもの
 希望地：あまり遠くないところが参加しやすいかも
- ◇普通の学校とは異なる特色があり、今年度の視察は良かったです。
 次年度実施にあたって、時期は今年度ぐらい、場所は他支部が難しければ管内でも良いと思います。
- ◇個人的には、開校当時から視察してみたかったので希望が叶いました。
 時期：9月頃
 内容：一任します
 希望地：一任します
- ◇時期：中体連大会（新人戦）が終了した頃がいいです。8月休み明け 25/26日
 内容：小中一貫校の校舎
 希望地：札幌もしくはその近郊がいいです
- ◇色々な施設が併合している学校はどういうものなのかという興味がありましたが、大変勉強させていただきました。ありがとうございました。
 時期：大変良かった
 内容：大変良かった
- ◇時期：大変良かった（時期は10～11月頃）
 内容：大変良かった（内容 各学校の事務実践の取り組み について）
 希望地：石狩市内より近くの方がいいと思います。
- ◇よかったと思います。
- ◇他の市町村の様子を初めて知ったので新鮮でした。
 時期：同じ頃
- ◇代寛太と思います。来年度も同じような視察があれば参加したいです。
- ◇すみませんが欠席でした。

- アンケートの結果から9月中の実施が良いと思われまので、次年度も9月中の実施で検討したいと思います
- 内容、希望地について要望がありましたので、次年度の視察研修の際には検討したいと思います。移動に時間のかかる様な地域への視察は難しいと思われるので、石狩市近郊で検討したいと思います。

3 講演会・出前講座について

今年度、出前講座として12月9日（金）に「知っておこう成年後見制度」を行いました。日時、内容は適当であったか、何かご意見等ありましたらお書きください。”

- ・時期について （時期は 月頃）

- ◇よし
- ◇特になし
- ◇時期は12月でしたが、夏季研や冬季研のコマを使って行うのでもアリかなと思いました。
内容については、①「ICTのお話し」教育機器の活用に関する話 ②「教育以外のお話し」ファイナンシャルプランナーや税理士等のお話しを聞いてみたいです。
- ◇良かった
- ◇これについても、講座内容の選定や講師への依頼など大変お疲れ様です。講座内容については例年通りアンケートなどをとったうえで、調査研修部で決定するという形でよいかと思います。時期については講師の方の都合もあると思いますので、お互いの都合のつく時期に実施するという形でよいかと思います。
時期：調査研修部内で決められた時期でよいと思います
内容：調査研修部にお任せします
- ◇この制度について知らなかったのが、良かったです。
- ◇直接職務に係る内容ではありませんでしたが、「後見人制度」については職員に環流しました。
次年度の開催についてはすべて一任します。
- ◇同時期で石狩市の財政課の出前出張みたいのがあればいいかな。
- ◇余りなじみのないテーマでしたが、そもそもそういう制度があり、石狩市においても活動しているということが知れて、又、今後関係することがあるかもしれませんので大変勉強となりました。
時期：大変良かった
内容：大変良かった
- ◇時期：11～12月頃
内容：おまかせします
- ◇よかったです。
- ◇次回の内容として、石狩市のまちづくり出前講座の、まちづくり【03 まち】13マイナンバー制度について聞いてみたいです。
時期：同じ頃
内容「マイナンバー制度
- ◇とても参考になりました。ありがとうございました。
- ◇すみませんが欠席でした。

- 実施時期について、夏季研や冬季研でという意見もありましたが、多くは同時期でいいという意見でしたので、12月の実施で検討したいと思います。内容や講師の都合により時期がずれることもあります。
- 次年度の内容について要望がありましたので、次年度の実施の際には検討したいと思います。

4 その他

上記以外で意見等ありましたらご記入ください。

◇特になし

◇一年間お疲れ様でした！！

◇お忙しいところありがとうございました。

◇お疲れ様です。

◇調研部は他支部交流や講演会・出前講座を決める際にみなさんの希望する時期・場所などでまとめるのが大変だなといつも思ってましたが、今年はスムーズに決まった印象があり、すばらしかったと思います。

◇特になし

◇特にありません。

◇職員向けの休暇の種類についてや休暇処理簿の記入例、育休職員の手続きチェックリストなど市内で共通化して良いものを作成してはどうでしょうか。

3. 予算要望Gの反省について

① 予算要望書内で取り上げている項目（印刷関連費・各教材費の保護者負担・学校図書館消耗品・ブラバン楽器・スキー学習バス代）の、調査内容や調査方法は十分であったか？

（ 十分・・・8 まあまあ十分・・・5 不十分 その他 ）

具体的にご意見などありましたらお願いします。

各学校からの意見

いろいろ見させていただき参考になりました。

特にありません。

部としての見解

これら調査内容や調査方法は継続していきたいと思います。

② 予算要望書で、次年度に向けて他に調査したら良いと思われるものがありましたら、ご意見をいただきたいと思います（冬季研で議論した修学旅行・宿泊学習就学援助対象経費以外の経費調査、スキー学習バス代トータル料金調査の継続の確認も含めて）。

各学校からの意見

スキー学習バス代の限度額が上がりましたが、それでどう変わったか。バス代の補助を1回から2回に変わるよう、調査を継続したほうが良い。

特になし。

害虫及び害臭対策予算・英語教材予算・ICT対策予算。

修学旅行・宿泊学習の経費は今後も調べる必要があると感じました。（私は提示し間違えた身ですすみません。）「年間契約したほうが安いリスト」を作って教えてあげることも必要かと思うのは私だけ・・・！！？

上記の調査は継続したほうが良いと思います。

修学旅行・宿泊学習就学援助対象経費以外の経費についての調査の継続。

修学旅行では職員の旅費請求の際、施設の入館料や入場料は市町村予算で措置されるべきものとされているので、それらの経費の調査はどうでしょうか。

施設、設備関係などの予算、例えば電球とか、補修に係る消耗品費とか。

部としての見解

上記2点については、引き続き調査を進めていきたいと思います。

石狩市の予算要望は、全体として共通するものについてポイントをしばって要望している。ひとつひとつの案件すべてをあげていくと資料として膨大な量となってしまうため、学校や地域に合わせた対応として別方法で要望していくか、もしくは各学校自由に記述してもらった項目をおこして、要望の資料づくりとして取り組む方法もあるかと思っています。

また、部内での話し合いで、数年前に行っていた各学校ランキング表のすり合わせを久しぶりに行ったほうがよいのではないか（要望の共通事項がないかどうか確認し、あれば要望事項として検討していく必要があると思うので）という意見がありました。今年度中に要望の回答書が配布され

ると思うので、5月の連携会議で行えたらと思います。

- ③ 視覚に訴える資料として、今回花川南小品川さんに大変お手数をおかけし、児童・生徒ひとり当たりの学校配分予算額の推移を作成していただきました。成果などについてはこれから現れてくるかと思いますが、今後もこのように視覚に訴える資料（グラフなど）を掲載する方向で進めるかどうか（品川さんに作成していただいた資料についても、引き続き集計し作成・掲載していくかも含めて）、ご意見をいただきたいと思います。

各学校からの意見

良し

なかなか貢献はできませんでしたが、視覚に訴える資料は相手にわかりやすさを感じさせるので良いと思います。

とても良かったです。継続を望みます。

視覚に訴える資料の掲載は、必要だと思います。

今、良い意見が思いつきません。申し訳ありません。

すぐにやめるのはもったいないです。視覚に訴えるのは、プレゼンの基本なので、今後もやっていくことが大事だと思います。※品川さん、お疲れ様です！！

継続していけたら良いと思います。

特にありません。

正確な数字を見るためには表の方がいいと思いますが、推移を見るのにはグラフの方が分かりやすく予算要望をするに当たって効果的だと思います。大変だと思いますが、今後も配分予算の推移について、作成、グラフ化を継続していただければと思います。

視覚に訴える資料はとても分かりやすいと思いました。

掲載するかは別にしても、データとして継続していくことは有効と思います。

部としての見解

引き続き作成・掲載していきたいと思います（可能であれば、印刷経費の推移も資料化できればよいかと思います）。さらに今年度モノクロレーザープリンタが入れ替わったり、プリントフリーが入っている学校もあるので、印刷経費の推移も資料化（折れ線グラフなど）していけるといいのではと思います（項目をしぼって）。

- ④ 上記以外に何かありましたら、以下に記載してください。

各学校からの意見

お忙しいところありがとうございました。

以下に掲げる市の計画的更新予算の確認

- ・カーテン
- ・屋根の防水対策等の貼り替え
- ・ICT機器関連

1年間本当にご苦勞様でした。

予算要望は、仕事の根幹のひとつだと思っているので、頑張っていきましょう！！

予算要望委員会等の参加もあり、忙しかったかと思います。1年間お疲れ様です！！

お疲れ様でした。

児童用机、椅子の更新についての要望はどうでしょうか。新学習指導要領改訂から予算要望につながる点を検討してはどうでしょうか。

※この場での掲載ではないと思いますが、教育委員会の棚からの文書受取や直接提出を宅配業者などに委託するような要望はできないでしょうか。

大変お疲れ様でした。

部としての見解

内容によっては、学校ランキング表（学校ごとの要望）による要望、学校配当予算増額で対応しているもの、連携事務局で検討するものなどありますので、それらを踏まえて調査項目の精選をしていくのがよいかと思います。今年度は夏季研で調査結果を検討するため、例年と比べて調査依頼から回収、集約まであまり時間がなく大変だったので、来年度は検討、確認しなければならない案件をすべて今年度より1回早い会議で取り組んでいくのがよいかと思います。1回目の連携会議で調査項目の見通しをたて、最初の予算要望委員会を例年より早めに行う（5月上旬～中旬）。

平成29年 4月 日

様

石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議
議長 小谷千里
(石狩市立花川小学校事務職員)

2016年度版「石狩市の学校間連携」の配付について

小中学校の入学式も終了し、一段と春陽の増す今日この頃ですが、貴職におかれましては石狩市の教育推進にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

さてこの度、当会議におきましては、昨年度一年間の活動をまとめた「2016年度 石狩市の学校間連携」を作成いたしました。この間の関係各位のご協力を厚く御礼申し上げます。

つきましては別添の通り配付をいたしますので、ご査収くださいますとともに、ご意見等ございましたら事務局までお寄せいただきますようお願いいたします。

今後とも、「学校間連携会議」に対するご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。